

# 実習助手の実習教諭免許（単位）取得に関する調査

全国高等学校農場協会振興局

## I. 調査目的

実習に携わる職員のうち実習教諭免許取得希望者がどれだけいるのか、また実習教諭免許取得希望者が単位取得の機会があるのかを把握し、十分でなければ本協会より関係各機関に働きかけをおこなう資料といたく、本調査を実施した。

## II. 調査結果

調査の結果、375 校中 346 校の学校から回答があった。

### 1 調査対象者に関すること

#### 1) 実習教諭・実習助手等、実習に携わる職員の配置がありますか。

ある	338 校	97.7%
ない	8 校	2.2%

#### 2) **1の問いでア**と答えた学校では、実習に携わる職員は何人いるか、年代別にお答えください。

##### ①実習に携わる職員の割合

実習教諭	627 人	30.2%
実習助手	995 人	47.9%
期限付等	316 人	15.2%
再任用	139 人	6.7%

都道府県によって任用替えの規定は様々（令和2年度アンケート結果参照）だが、概ね40代で実習教諭へ任用替えが行われていることが結果から推測される。

##### ②実習教諭年代別割合

10代職員	2 人	0.3%
20代職員	10 人	1.6%
30代職員	71 人	11.3%
40代職員	240 人	38.3%
50代職員	293 人	46.7%
60代職員	11 人	1.8%

##### ③実習助手の年代別割合

10代職員	5 人	0.4%
20代職員	184 人	16.0%
30代職員	380 人	33.0%
40代職員	288 人	25.0%
50代職員	288 人	25.0%
60代職員	6 人	0.5%

④期限付等年代別割合

10代職員	1人	0.3%
20代職員	131人	41.6%
30代職員	92人	29.1%
40代職員	36人	11.4%
50代職員	22人	7.0%
60代職員	34人	10.8%

⑤再任用年代構成

60代職員	125人	89.9%
その他	14人	10.1%

- 3) **2の ア** 実習教諭の中で、高校一種免許状（実習）を取得した職員が何人いるかお答えください。

実習教諭 627 人中 489 人（78.0%）が高校一種免許状を取得している。

- 4) **2の ア** 実習教諭の中で、令和2年度までに実習助手から任用替えした職員が何人いるかお答えください。

実習教諭 627 人中 276 人（44.0%）が実習助手から任用替えし実習教諭となった。  
昨年度の調査結果（288 人）から-12 名である。

- 5) **2の ア 及び イ** の職員の中で、免許認定講習の受講を希望する職員が何人いるか、年代別にお答えください。

免許認定講習の受講希望者割合

10代職員	2人	0.5%
20代職員	105人	24.3%
30代職員	184人	42.6%
40代職員	114人	26.4%
50代職員	27人	6.3%

2 修得単位に関すること

- 1) 農業関係科目（必修4単位）の修得単位数を、修得した単位数ごとの人数をお答えください。

教科に関する科目（農業：必修4単位）単位修得状況

4単位	426人	54.3%
3単位	42人	4.8%
2単位	54人	8.0%
1単位	43人	6.7%
0単位	211人	26.2%

- 2) 職業指導（必修1単位）の修得単位数ごとの人数をお答えください。

職業指導に関する科目単位修得状況

1単位	508人	64.6%
0単位	278人	35.4%

3) 教育の基礎理論に関する科目の修得単位数ごとの人数をお答えください。

教育の基礎理念に関する科目単位修得状況

3 単位	284 人	36.6%
2 単位	149 人	19.2%
1 単位	93 人	12.0%
0 単位	249 人	32.1%

4) 教育課程や指導法、生徒指導、教育相談、進路指導に関する科目の修得単位数ごとの人数をお答えください。

「教育課程及び指導に関する科目」並びに「生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目」修得状況

5 単位	208 人	26.9%
4 単位	63 人	8.2%
3 単位	104 人	13.5%
2 単位	94 人	12.2%
1 単位	62 人	8.0%
0 単位	241 人	31.2%

5) コロナの影響で認定講習の開催が困難な状況にあることと思います。現状で講習開催について要望や懸案事項等があればご記入下さい。

- ・オンラインで認定講習を開催していただきたい。(多数)
- ・講習を毎年開催して欲しい。(多数)
- ・免許取得のルールも含めて、講習開催の予定がわかりにくい。
- ・夏に加えて、冬季も開催できないか。
- ・単位の修得が生涯賃金に関わるので、簡単に中止にしないで欲しい。2年続けて昇任試験を受けられない人が増えている。
- ・自県や近隣地区での開催を希望。

Ⅲ 実習教諭への任用替えを推進するために、農業部会や校長会等が都道府県へ働きかけを行っているか。また、行っているとしたら、どのようなことを行っているかお答え下さい。(全国理事のみ回答)

14の県が「行っている」と回答した。具体的には以下の内容となる。

- ・農業部会、校長会が県へ要望している。(多数)
- ・充足数を満たすため、採用試験を実施してもらうよう校長会から県へ要望している。
- ・20年近く実習教員の採用が無い。働いている実習教員の半数以上が臨採であり、採用の要望を行っている。

Ⅳ まとめ

コロナ禍により多くの地域で認定講習会が開催されなかったことは、多くの実習教員に影響を与えていることがアンケート結果より分かった。地域によっては、オンラインで開催されており、そのような形での開催を望む声が非常に多かった。オンライン開催によって地域による開催頻度の差が解消され、実習教員の円滑な免許取得に繋がると考える。大学の授業がオンラインとなっている昨今の現状を踏まえつつ、是非検討いただきたい。さらに、実習教員が講習開催について情報を得やすい環境作りも必要だと感じた。併せて、実習教員充足の要望や任用替えの推進についても各関係機関に働きかけていきたい。